

令和4年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要  
女性の活躍

働き方改革で従業員の満足度向上。養豚業を誇れる仕事に！

○氏名又は名称 セブンフーズ株式会社（代表 前田 佳良子）

○所在地 熊本県菊池郡大津町

○出品財 女性の活躍（畜産）

○受賞理由

・地域の概要

大津町は、八方ヶ岳から東部の阿蘇外輪山の鞍岳まで山岳が連なる山林や、菊池溪谷を成す清冽な菊池川の源流などの豊かな自然に囲まれた地域で、菊池平野を中心に肥沃な土地を形成している。特に畜産業においては、西日本有数の産出額を誇る。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

女性社長が経営する養豚一貫経営であり、IT等先進技術を積極的に導入することで、大規模経営を確立した。現社長の入社当時（平成19年）出荷頭数240頭、従業員4名から平成31年には5.3万頭、77名へと急激に事業拡大し、大幅な収益増加を可能とした。

・受賞者の特色

（1）働き方改革

平成26年に、複数の若手女性従業員が退職したことを契機に、完全週休二日制、長期休暇制度、マタニティプログラム制度を活用した職場環境や給与体系の改善を図ると同時に、野菜部門での機械化・自動化により肉体労働の負荷を軽減させる施策を実施。これらにより、従業員満足度が向上し、離職率が低下している。

（2）持続可能な循環型農業の実践

食品残さなどの未利用資源を家畜の飼料として利用し、家畜の排泄物や発酵床で作った完熟堆肥を用い、自社農場で野菜を栽培し、その野菜を食品工場に納品するという自社完結型で持続可能な資源循環型農業を実践している。

（3）IT技術の積極的な導入

豚の耳にICタグをつけて個体管理するシステム、体調に合わせて餌の量を調整する自動給餌システム、餌を食べる時に通過するソーターで、自動で体重が計られ選別される適正体重自動出荷システムを導入し、安心・安全な畜産物の生産向上に繋げている。

（4）女性の活躍

代表取締役社長が女性であるだけでなく、役職員への女性の積極的な登用などにより、人材育成を図っている。また、妊娠した従業員の業務内容を畜舎での作業から事務所での事務作業とするなど、勤務を継続することができる環境を整備。地域の子どもたちを招待した農育活動や、女性の視点でアニマルウェルフェアにも取り組んでいる。

・普及性と今後の発展方向

同社の目指す農業は、持続可能な循環型農業であり、養豚・野菜生産事業を核として、耕畜農家や食品会社など食に関わる人々を環にした食品リサイクルループの取組を拡大することとしており、今後の発展も期待できる。